

原田英代 ピアノ・リサイタル

国際的に活躍する真の実力派ピアニストが贈る“人間ドラマと音楽”

第3回

〈変容〉

人はさまざまな苦しみと共にある日々のなかで、突然変容した自分に気づきます。それは内面からの質的变化です。今回は、多種多様な「変容」の姿を辿ります。

シューベルトの即興曲op.90-1は、苦悩のテーマが性格を変えながら繰り返され、やがて訪れる浄化された世界に変容した姿を見ます。シューマンは「クライスレリアーナ」で死を予感させ、愛の霊的な成就を示唆しました。死への移行は究極的な変容です。「ロミオとジュリエット」も死への変容です。プロコフィエフは、愛が死へ、死が愛へ変容することを音で表しました。

1917年のロシア革命は芸術家たちを恐怖に陥れました。ラフマニノフは亡命後も祖国の新体制に抗い続け、ロシアへの愛を持ち続けました。一方、少年時代から革命への共感を育んだショスタコーヴィチは革命の作曲家でしたが、彼の苦悩も永遠でした。前奏曲とフーガ第24番は、泥沼に突き落とされた人間の魂の叫びです。ロシアからソヴィエトへ、変容する時代に翻弄された作曲家二人が全身全霊を込めて作曲した作品をお聴き下さい。

原田 英代

2019 3.8 Hakuju Hall
〈金〉19:00開演 (18:30開場)

シューベルト：「4つの即興曲」D.899より 第1番 ハ短調

シューマン：クライスレリアーナ op.16

ラフマニノフ：「10の前奏曲」op.23より 第10番 変ト長調 / 第7番 ハ短調

：「12の歌」op.21より 第5曲 変イ長調「リラの花」

：「楽興の時」op.16より 第4番 ホ短調

プロコフィエフ：バレエ「ロミオとジュリエット」より

少女ジュリエット / モンタギュー家とキャピュレット家 / マキューシオ / 別れの前のロミオとジュリエット
ジュリエットの葬儀 / ジュリエットの死

ショスタコーヴィチ：「24の前奏曲とフーガ」op.87より 第24番 ニ短調

© Uwe Arens

公演テーマ

第1回「さすらい」(終了) 第2回「葛藤」(終了) 第4回「統一」2020年3月開催予定 第5回「光」2021年3月開催予定

出演 原田英代 (ピアノ)
Hideyo Harada, piano

入場料

全席指定 4,500円(税込)

「リサイタル」「レクチャー」セット券 6,000円(税込)

*限定50セット (リサイタルは指定席、レクチャーは自由席)

「セット券はHakuju Hallチケットセンター」
お電話のみの取り扱いとなります。

チケットお申し込み

Hakuju Hall チケットセンター 03-5478-8700 10:00~18:00 (火~土 ※祝日・休館日を除く)

オンラインチケット予約 <http://www.hakujuhall.jp/>

■ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード: 34444) ■イープラス <http://eplus.jp/hakuju/>

DM会員先行発売日
2018年11月17日(土)

一般発売日
2018年11月24日(土)

原田英代

レクチャー ～不滅のロシア、その音楽と文学の風景～

2019 3.12 (火) Hakuju Hall
19:00開演 (18:30開場)

講師 原田英代 (ピアノ) ゲスト 亀山郁夫 (ロシア文学者) アシスタント 水村仁美 (ピアノ)

入場料 全席自由 2,500円(税込) Lコード: 34444
「リサイタル」「レクチャー」セット券 6,000円(税込) *限定50セット
(リサイタルは指定席、レクチャーは自由席) (セット券はHakuju Hallチケットセンターお電話のみの取り扱いとなります。)

第1部では、ロシア文学者の亀山郁夫さんをゲストに“ロシア人のものの見方”を分析し、ロシア音楽に特有の要素を浮かび上がらせてます。

ロシアの歴史や風土、文化、そしてロシア人という民族の特徴を解説、亀山郁夫氏が2018年8月にロシア旅行で撮影した写真や動画をスクリーンに投影し、ロシア音楽との関連性を見つけ出します。

第2部では、ロシア音楽と文学の関連性を解説し、楽曲の本質や込められているメッセージを紐解くと共に、特有の音色を出すための身体の使い方をデモンストレーションします。

音楽と密接なつながりを持つ文学の観点と、それぞれの作曲家たちが生きた時代背景を基軸に、チャイコフスキーやラフマニノフ、ショスタコーヴィチらの作品の音楽的解釈を探ります。

実際に原田英代がデモンストレーション(部分的に演奏)し、楽曲の持つ本質と理想的な音色を解説。そして理想的な音色を創り出すために必要な身体の使い方を、水村仁美(アシスタント)と共に解説します。

原田英代 ピアノ

Hideyo Harada, piano

東京藝術大学、同大学院を経て、渡欧。モスクワ音楽院の名教師ヴィクトール・メルジャーノフ教授の下で研鑽を積む。1984年ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、91年シュペルト国際ピアノコンクール第1位、93年第1回ラフマニノフ国際ピアノコンクールでは旧西側参加者の中で唯一入賞を果たす。これまでにWDRケルン放送響、スイス・ロマン管、南西ドイツ・フィル、NHK響、読売日響等のオーケストラと共演。ラインガウ、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン等の主要音楽祭に定期的に出演するほか、明治天皇百年祭での奉納演奏も行った。アウディーテより4枚のCDをリリースし、2014年にはみすず書房より初となる著書「ロシア・ピアノリズムの贈り物」を出版。ベルリン在住。



© Uwe Arens

亀山郁夫 ロシア文学者

Ikuo Kameyama, professor of russian literary

1949年、栃木県生まれ。名古屋外国語大学学長。前東京外国語大学学長。ロシア文学者。2002年に「磔のロシア」で大佛次郎賞、07年に翻訳「カラマーゾフの兄弟」で、プーシキンメダル及び毎日出版文化賞特別賞、12年には「謎解き「悪霊」」で読売文学賞受賞。ドストエフスキーの新訳では他に「罪と罰」「悪霊」「白痴」がある。音楽関連の著作として「チャイコフスキーがなぜか好き」「ショスタコーヴィチ 引き裂かれた栄光」など。15年、自身初となる小説「新カラマーゾフの兄弟」を刊行した。



水村仁美 ピアノ・アシスタント Hitomi Mizumura, piano assistant

桐朋女子高校音楽科を経て桐朋学園大学ピアノ科卒業。1992年より原田英代氏に師事。後進の指導にあたりと共に弦楽器、管楽器、声楽の伴奏、室内楽を中心に活動。2008年リサイタルを開催。

〒151-0063
東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5
TEL 03-5478-8867〈最寄駅〉
代々木公園駅(千代田線) 徒歩5分
代々木八幡駅(小田急線) 徒歩5分〈バス〉
富ヶ谷バス停下車 徒歩1分
渋谷駅西口バスターミナルより10分
※渋谷61(初台行) 渋谷63(中野行)
渋谷64(中野行) 渋谷66(阿佐ヶ谷行)
渋谷69(笹塚循環)

DM会員募集中

年2回のDM案内、先行予約、先行予約時の割引。
ご登録料・会費はまったく無料です。
ご登録・詳細はホールHPまたはチケットセンターお電話まで。

HAKUJU

株式会社白寿生科学研究所は、
音楽を通じて
“ゆとりある精神”を
実現する場を提供いたします

- * 最後列Q列はリクライニング席となります(チケット料金は変わりません)。
- * 出演者: 曲目・曲順等が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- * 出演者: 曲目の変更に伴うチケットの払い戻しはいたしません。
- * 一度お求めいただいたチケットの変更、キャンセルはできません。
- * 未就学児の入場はご遠慮ください。
- * 車椅子でご来場のお客様はあらかじめHakuju Hallまでご連絡ください。
- * ホールには駐車場はございません。

ハクジュホール

検索